

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|------|-------------|
| ○事業所名 | キッズデイ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年1月15日 | | ～ 令和8年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15世帯 | (回答者数) 12世帯 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年1月15日 | | ～ 令和8年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5人 | (回答者数) 5人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 2月 16日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|----------------------------|
| 1 | 学校・学童等と連携し、生活や学校場面につながる支援を行っている。 | 集団活動を通して、人との関わりの経験が増やせるように意識して取り組んでいる。 | ケース会議を行って情報共有をし、支援の統一性を図る。 |
| 2 | 年齢や発達段階に応じた、社会性・自立に向けた支援ができる。 | 成功体験を重ねるための声掛けや環境設定を意識している。 | 将来を見据えた生活力や社会性の支援を強化していく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------------|--|
| 1 | 子どもの年齢幅や特性の違いから、支援の調整が難しいこともある。 | 子ども一人ひとりのニーズが多様である。 | 支援目標や関わり方を可視化して共有していく。 |
| 2 | 専門性の違いから、支援方法に関する共通理解が難しいこともある。 | 振り返り、支援会議等を全員で行うことが難しいことがある。 | ・継続して研修受講を行って職員のスキルアップを図り、お互いの強みを生かせるようにする。 ・学校・家庭との連携を強化し、一貫した支援体制をつくる |
| 3 | | | |